

Ensemble Wien-Berlin, Wind Quintet

アンサンブル・ウィーン＝ベルリン

Karl-Heinz Schütz, Flute / Jonathan Kelly, oboe / Gerald Pachinger, clarinet / Richard Galler, bassoon / Stefan Dohr, horn

ウィーンとベルリンの首席奏者が集う、世界最高峰の木管五重奏



©Antonia Renner

リヒャルト・ガラー
(ファゴット)
ウィーン響首席

ゲラルド・パッヒンガー
(クラリネット)
ウィーン響首席

カール＝ハインツ・シュッツ
(フルート)
ウィーン・フィル首席

ジョナサン・ケリー
(オーボエ)
ベルリン・フィル首席

シュテファン・ドール
(ホルン)
ベルリン・フィル首席

2026年

9月20日(日) 14:00開演(13:15開場)
iichikoグランシアタ

ダンツィ：木管五重奏曲 ニ短調 Op.68, No.3
メンデルスゾーン (シェーファー編)：夏の夜の夢 Op.61
タファネル：木管五重奏曲
プロコフィエフ (リンケルマン編)：組曲「ロメオとジュリエット」

全席指定 S席 5,000円 (KOTOBUKI 4,300円/TAKASAGO・UME 4,500円)
A席 4,000円 (U25 2,000円/KOTOBUKI 3,400円/TAKASAGO・UME 3,600円)

友の会びび先行発売：2026年6月4日(木) / 一般発売：2026年6月11日(木)

チケット取扱い：iichiko総合文化センターホームページ
iichiko総合文化センター4階窓口
エトウ南海堂 [097-529-7490]
トキハ会館3階プレイガイド [097-538-3111]
ローソンチケット [Lコード84980]
チケットぴあ [Pコード325-449]

公演詳細



チケット販売



助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
特別協賛：三和酒類株式会社 後援：大分県、大分県教育委員会、大分合同新聞社、大分県吹奏楽連盟



主催・お問合せ：iichiko総合文化センター [公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団] TEL.097-533-4004 (平日10:00~17:00)

1983年にウィーン・フィルとベルリン・フィルから集う桁外れのソリスト5人、シュルツ(Fl. ウィーン・フィル)、シェレンベルガー(Ob. ベルリン・フィル)、ライスター(Cl. ベルリン・フィル)、トルコヴィッチ(Fg. ウィーン響)、ヘーグナー(Hr. ウィーン・フィル)によって設立され、「スーパーアンサンブルの誕生」と熱狂的な喝采をもって世界中の音楽界から迎えられた。以来、メンバーを徐々に変更しながら活動を続けてきたが、2013年に30周年を迎えたのを機に、ザルツブルク音楽祭、ウィーン、ベルリンでの演奏をもって、最後の創立メンバーであったシェレンベルガーが引退。完全に若返る形で、新生アンサンブル・ウィーン=ベルリンとして新たな船出をした。

その後、2015年、17年、19年、24年と日本ツアーを行い、会場には若い聴衆も詰め掛け、いずれも大成功を収める。新しい感性と卓越したテクニックで、これまでにない更なるレパートリーの拡大にも力を注ぎ、木管五重奏の新境地を開拓。2022年5月にクラリネット奏者が代わり、グループとしてのさらなる飛躍が期待されている。



©T.Tairadate

カール=ハインツ・シュッツ(フルート) *Karl-Heinz Schütz, flute*

オーストリア生まれ。オーレル・ニコレ等に師事。カール・ニールセン国際フルート・コンクール等で優勝。ウィーン交響楽団首席フルート奏者等を歴任。客演奏者としてパイロイト祝祭管弦楽団等に客演。ソリストとしても様々なオーケストラと共演、好評を博す。またウィーン・リング・アンサンブルや、アンサンブル・ウィーン=ベルリンのメンバーとしても活躍。ウィーン国立歌劇場管弦楽団の首席ソロフルート奏者、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロフルート奏者。ウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学のフルート科教授。



ジョナサン・ケリー(オーボエ) *Jonathan Keffy, oboe*

イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で歴史学を学び、ロンドンの王立音楽アカデミーとパリ国立高等音楽院でオーボエを学ぶ。バーミンガム市交響楽団首席オーボエ奏者を10年間務めた後、2003年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者に就任、また、ソリストとして定期的にベルリン・バロック・ゾリステンと共演を続け、CDの録音も積極的に行っている。また、シャルーン・アンサンブル・ベルリンとも頻繁に共演、ツェルマツ音楽祭では、演奏者としてだけでなく、講師として教育活動にも参加をしている。



ゲラルド・パツィンガー(クラリネット) *Gerald Paichinger, clarinet*

オーストリア生まれ。ペーター・シュミードルに師事。クラウディオ・アバド率いるグスタフ・マーラー・ユース・オーケストラに創設メンバーとして入団。1987年10月より、ウィーン交響楽団首席クラリネット奏者を務める。ルイーゼ、サヴァリッシュなど多くの指揮者とソリストとして共演。室内楽奏者としては、ウィーン木管アンサンブル、ウィーン木管五重奏団、ウィーン室内合奏団のメンバーを務める。ザルツブルク音楽祭をはじめとする数多くの音楽祭にも招かれる。2004年よりグラーツ国立音楽大学の教授を務めている。



リヒャルト・ガラー(ファゴット) *Richard Gasser, bassoon*

オーストリア生まれ。1987年9月より、ウィーン交響楽団の首席奏者を務めているほか、ブラードのパブロ・カザルス音楽祭、札幌のパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)ほか、著名な室内楽音楽祭に定期的に出演。2010年より、ウィーン室内合奏団のメンバーとなり、ソリストとしても、世界各地で活躍するかたわら、1997年から2004年にはザルツブルク音楽院教授、2004年3月からはウィーン国立音楽大学教授として後進の指導にもあたっている。



©Simon Pauly

シュテファン・ドール(ホルン) *Stefan Dohr, horn*

ドイツ生まれ。1985年フランクフルト・オペラ管弦楽団の首席ホルン奏者に就任、2年後にはパイロイト音楽祭管弦楽団、その後ニース・フィルハーモニック管弦楽団、ベルリン放送交響楽団にて首席を歴任。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団には1993年より首席ホルン奏者として就任。また、ソリストとして、さらにベルリン・フィル団員との数多くのアンサンブルのメンバーとして活動するほか、ハンズ・アイスラー音楽大学およびカラヤン・アカデミーで指導も行っている。

iichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ

大分市高砂町2番33号

●JR大分駅から徒歩15分 ●大分自動車道 大分ICから車で約10分 ●大分空港から特急バス「エアライナー」にて大分駅まで約60分

お願い:演奏中の客席への入退場は制限させていただきます

公演中止の場合を除き、予約・購入後のキャンセル・変更・払戻しはできません

営利を目的としたチケットの転売は法律で禁止されています

無料託児サービス(要予約:9月4日17:00まで。対象:満2歳~未就学児童。先着5名)および車いす席の

お問合せ・ご予約はiichiko総合文化センター事業推進課(097-533-4004)までご連絡ください

